

第26回
椿窯

佐藤珠幸 陶展

～いやしのうつわたち～



削手木蓮壺

2019年4月27日(土)～5月26日(日)

会場 朝倉文夫記念文化ホール

開館時間 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 5月7日(火)、13日(月)、20日(月)

入館料 大人200円(記念館入館者は無料)、小中高生 無料

*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は無料です。

会期中、
自宅(椿窯)にて
窯場展も
同時開催

主催：豊後大野市 朝倉文夫記念館

後援：大分合同新聞社、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、大分ケーブルテレコム

椿窯 佐藤珠幸 陶展 ～いやしのうつわたち～

佐藤珠幸氏（東陶会理事）は、1950（昭和25）年、北九州市若松区生まれ。小学生の頃から陶芸に興味を抱き、1968（同43）年、上京。ベーシックデザインを学び、1971（同46）年、東京クラフトデザイン研究所陶磁器専攻科を卒業。常滑秘色焼にて修業ののち、1975（同50）年、静岡県焼津市に窯を開き、1989（平成元）年、竹田市に移窯。その後、当時の朝地町長の要請を受け、1993（同5）年に現豊後大野市朝地町鳥田に椿窯を開き、祖母山・傾山を見渡すことのできる雄大な自然を楽しみながら、伝統性をふまえ、やさしい表現を心がけた作陶をしています。

1993年以来、当館で開催している佐藤氏の個展も、今回で26回目となります。今回は「いやしのうつわたち」をテーマに制作した、皿、鉢、花器、陶額など、実用的でありながらも見ていて癒やされる暮らしの器約200点を展示します。ぜひご鑑賞ください。



釉裏紅菱皿



ささめ雪蛤向付



青華アイスクリーム杯



青華花挿



東陶会理事

「椿窯」主宰 佐藤珠幸

豊後大野市朝地町在住

1950年 北九州市若松区に生まれる
1971年 東京クラフトデザイン研究所 陶磁器専攻科卒業
1972年 常滑秘色焼入社
1975年 静岡県焼津市に窯を開く
1989年 大分県竹田市に移窯
1993年 大分県朝地町に移窯
1993年～ 椿窯 佐藤珠幸 陶展
以降ほぼ毎年開催（朝倉文夫記念文化ホール）
大丸東京店美術画廊個展（数回）
東陶会展
長三賞常滑陶芸展 長三賞受賞
産業輸出デザイン展出品
南アフリカ JAPAN 展出品
富嶽展入選
静岡県芸術祭受賞
朝日陶芸展入選
第13回国民文化祭・おおいた98
野外陶芸展受賞



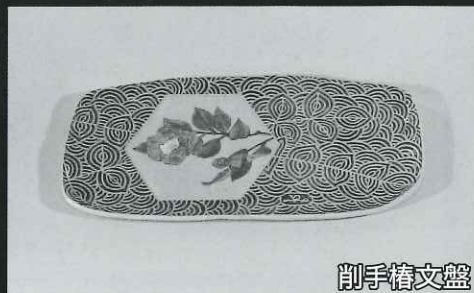
ボンボン入れ



葡萄文鉢



釉裏紅マグカップ



削手椿文盤

会期中、
自宅(椿窯)にて
窯場展も同時開催

Fumio Asakura Museum of Sculpture
朝倉文夫記念館

〒879-6224 大分県豊後大野市朝地町池田1587-11

愛の園生 朝倉文夫記念公園 TEL.0974-72-1300

<http://www.bungo-ohno.jp/categories/shisetsu/asakura/>

